

# 日本生命四条ビル 完成

京都のビジネス中心地・四條烏丸に新たなランドマークが誕生。日本生命保険相互会社が事業主となり、大林組・大末建設JVが施工を担った「日本生命四條ビル」が完成した。S一部SRC造地下1階地上8階建て延べ約1万1200平方メートルの規模を誇り、烏丸駅から徒歩1分、四條駅から徒歩3分という交通利便性にも優れる。オフィスと店舗を備えた最新ビルはBCPや省エネ性能にも配慮し、京都のビジネス街に新たな活力をもたらす。

京都市街地の、南北の通りをモチーフに格子状にデザインされた外観



## 設計コンセプト

### 「歴史性」と「先進性」を併せ持つ高品質オフィスビル

日本生命四條ビルは、京都のビジネスの中心地「四條烏丸」エリアに位置し、阪急京都線「烏丸駅」から徒歩1分、地下鉄烏丸線「四條駅」から徒歩3分という高い交通利便性を誇るテナントオフィスビルである。基準階は1フロアあたり約300坪の無柱空間で、三方向に開放された設計によりレイアウトの自由度が高く、さまざまなオフィスニーズに対応できる。BCP（事業継続計画）にも配慮し、2回線受電方式を採用することにより、最大72時間の稼働が可能な自家発電設備や緊急排水槽を設置。さらに、浸水対策や耐震性能を備え、快適性と安全性を兼ね備えた安心のオフィス環境を実現している。

環境面においても、Low-E複層ガラスや高効率な設備機器を採用することで省エネルギーを推進。既存の地下躯体を再利用し、太陽光発電も取り入れることでカーボンニュートラルの実現にも貢献し、建築物の環境性能を評価する「BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）」において5つ星を取得している。

### 「京都らしさ」と「品格」を感じる外観デザイン

外観デザインには、京都で親しまれている通り唄「丸竹夷（まるたけえびす）」をモチーフにした。南北・東西に京都の通りをアルミサッシで紡いだような表現とすることで、伝統的な街並みに自然と調和しながらも、現代的な景観を創出している。また前面道路の四條通は山鉦巡行のルートにもなっているため、建物が祭りの背景として都市空間の一部を構成することも意識した。祭りのにぎわいと日常が交差する、京都ならではの都市風景に溶け込んだ建築だ。通りを行き交う人々が、京都の歴史を感じてもらえる存在となり、地域文化への理解や対話を育むきっかけとなる外観を目指した。

### 「はんなり」とした上品で華やかな内観デザイン

1階エントランスは、京都の伝統的な住宅に見られる「通り庭」をイメージした空間構成としている。細長く続くアプローチには、木材のルーバーや土壁など自然の素材を用い、光と緑を感じられる石庭を配することで、四條通の喧騒とは対照的な、落ち着いた心地よさを感じられる空間を演出した。基準階の内装デザインには、京言葉の「はんなり（上品で華やかな様子）」をコンセプトに上質な空間を創出している。照明やアクセントとして取り入れたベンガラ色のサインが、和の趣を添えつつ空間にリズムを与える内装とした。

日建設計 設計監理部門 設計グループ ディレクター 中川 卓

## 施工のポイント

# 技術力と安全管理で完全無災害を達成

日本生命四條ビルの建設工事は2022年8月17日に既存施設の解体から始まった。京都・四條烏丸の繁華街という立地条件のため、人通りの少ない夜間に資材や大型重機を搬入。屋上に最大6台の重機を配置し、120t・140tクレーンを用いて資材や機材を揚重した。施工に際しては時速100kmでナットを発射しても破れない特殊ネット「トリカゴージシステム」で建物全体を覆い、粉じんや落下物を徹底的に防いだ。

本体工事は24年2月1日に着手。地下水が多い京都の特性を考慮し、地下階の解体工事では30力以上にわたり止水処理を施した。「地下工事の出来栄が建物全体の品質に影響するため、細心の注意を払い工事に当たった」と話すのは現場で指揮を執った安田辰夫所長（大林組）。解体時から漏水調査を重ね、将来の湿気やカビの発生を防止する品質管理に徹した。

さらにVR（仮想現実）やiPadを活用したデジタル管理を積極的に取り入れた。鉄筋の差し筋位置やデッキ筋の向き、スイッチや点検口の配置を3Dデータで事前

に確認し、人為的なミスを未然に防いだ。

第三者災害を含む労働災害の防止には万全を期した。通学時間帯には近隣小学校と調整して工事車両の通行を禁止し、多数のガードマンを配置。現場では重機と作業員の動線が交差しないよう事前に配置を見直した。日々の朝礼で危険箇所を常に共有し、「安全通路には物を置かないなどのルールを徹底させた。猛暑期には自由に水分や水菓を取れる環境を整えるなど作業員の健康管理にも気を配った。

竣工を迎え、安田所長は「歴史ある京都の地でこのような施設建設に携われたことを大変光栄に思う。工事全体で延べ作業時間は約32万時間に及んだが、各持ち場で工夫を凝らし技術力を発揮した作業員の努力と多くの関係者のご協力のおかげで『完全無災害』を達成できた」と感謝の言葉を述べる。

大林組・大末建設共同企業体  
日生四條烏丸JV工事事務所所長 安田辰夫

## 施設概要

◇名称	日本生命四條ビル	◇構造	S一部SRC造
◇事業主	日本生命保険相互会社	◇工期	2024年2月1日～25年9月17日
◇所在地	京都市下京区四條通東洞院東入立売西町60	◇設計・監理	株式会社日建設計
◇建築面積	1,287㎡	◇施工	株式会社大林組・大末建設株式会社JV
◇延床面積	1万1,143㎡		
◇階数	地下1階、地上8階、塔屋1階		

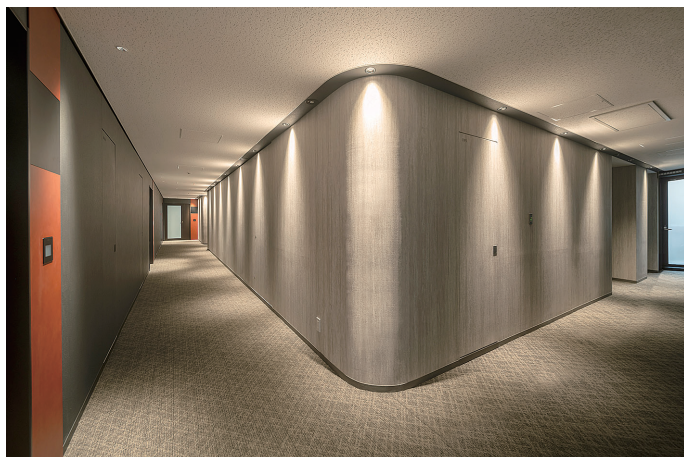
撮影：伊藤彰（アイフォト）



オフィスフロア



1階アプローチ



オフィス階廊下



エントランス

【 施工 】 大林組・大末建設共同企業体



## 株式会社 大林組

京都支店 京都市下京区四條通東洞院東入立売西町 60 電話 075-241-5871



## 大末建設株式会社

大阪市中央区久太郎町 2-5-28 電話 06-6121-7121

【 空調・衛生・電気設備工事 】



## 三機工業株式会社

大阪市中央区北浜 3-5-29 電話 06-7176-7630

【 昇降機設備工事 】

OTIS 日本オーチス・エレベータ株式会社 西日本支社

大阪市中央区城見 2-2-22 マルイト OBPビル 8階 電話 06-6949-1221